



## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月15日

上場会社名 JMACS株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5817 URL http://www.jmacs-j.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 植村瑠美 TEL 06-4796-0020  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	1,059	△9.3	△34	—	△22	—	△17	—
2020年2月期第1四半期	1,168	6.0	△24	—	△31	—	△15	—

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 △17百万円 (—%) 2020年2月期第1四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△3.67	—
2020年2月期第1四半期	△3.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	8,541	4,428	51.9
2020年2月期	8,723	4,493	51.5

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 4,428百万円 2020年2月期 4,493百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,463	5.2	114	62.0	151	82.3	112	68.6	24.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	4,691,555株	2020年2月期	4,691,555株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	5,571株	2020年2月期	5,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	4,685,984株	2020年2月期1Q	4,686,033株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ（連結業績予想などの将来予想情報に関する説明）をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う社会活動全般及び経済活動を制限された影響により、景気は大きく後退し、消費税増税などの影響も継続しており、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

一方海外経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、世界経済は急激な減速となっており、更に米中間における貿易摩擦の激化などをはじめとした海外における不安定な政治動向などにより、不透明な状況のまま推移しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、経営方針として、1. 攻めの経営、2. スピードと技術、3. 基本を大切に、を掲げ、常にお客様の視点に立った新製品・新技術の開発に注力し、サービス提供に努めてまいりました。

この結果当社グループの経営成績につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,059,890千円(前年同四半期比9.3%減)、営業損失34,715千円(前年同四半期は営業損失24,112千円)、経常損失22,762千円(前年同四半期は経常損失31,962千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失17,207千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失15,093千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <電線事業>

電線事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、電線の受注が減少し、売上高979,821千円(前年同四半期比11.4%減)となり、営業自粛に伴い販売費などのコスト削減に努めましたが、セグメント利益7,218千円(前年同四半期比75.1%減)となりました。

#### <トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、案件の獲得やスマートグラスの受注の増加により、売上高74,031千円(前年同四半期比97.9%増)となり、コスト面では、プロジェクト管理による収益性の改善により、セグメント損失17,336千円(前年同四半期はセグメント損失45,492千円)となりました。

#### <海外事業>

海外事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休業により、売上高6,036千円(前年同四半期比76.0%減)となり、収益性低下による商品評価損の計上により、セグメント損失24,444千円(前年同四半期はセグメント損失6,551千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は8,541,184千円となり、前連結会計年度末に比べ181,929千円減少いたしました。その主な要因は受取手形及び売掛金の減少337,893千円、電子記録債権の減少51,926千円、現金及び預金の増加146,924千円、商品及び製品の増加61,357千円等によるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債残高は4,112,344千円となり、前連結会計年度末に比べ117,711千円減少いたしました。その主な要因は支払手形及び買掛金の減少129,963千円、電子記録債務の減少88,307千円、未払法人税等の減少26,593千円、短期借入金の増加100,000千円、賞与引当金の増加29,055千円等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産残高は4,428,839千円となり、前連結会計年度末に比べ64,217千円減少いたしました。その主な要因は剰余金の配当による減少46,859千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の連結業績予想につきましては、2020年4月14日に発表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	310,377	457,301
受取手形及び売掛金	1,889,846	1,551,952
電子記録債権	291,969	240,042
商品及び製品	372,934	434,292
仕掛品	146,477	172,664
原材料及び貯蔵品	304,362	283,906
その他	99,027	114,517
貸倒引当金	△1,094	△4,657
流動資産合計	3,413,900	3,250,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,320,248	2,288,078
機械装置及び運搬具(純額)	121,773	119,928
工具、器具及び備品(純額)	23,231	23,220
土地	1,045,837	1,045,837
その他	3,901	3,618
有形固定資産合計	3,514,992	3,480,684
無形固定資産	15,120	17,200
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,580,844	1,580,508
その他	198,255	212,771
投資その他の資産合計	1,779,099	1,793,279
固定資産合計	5,309,212	5,291,164
資産合計	8,723,113	8,541,184
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	431,958	301,995
電子記録債務	441,411	353,104
短期借入金	750,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	111,812
未払金	94,412	80,056
未払法人税等	38,679	12,085
賞与引当金	21,454	50,510
その他	49,961	64,791
流動負債合計	1,937,878	1,824,356
固定負債		
長期借入金	1,990,554	1,982,537
退職給付に係る負債	120,838	124,909
役員退職慰労引当金	147,616	147,616
その他	33,168	32,925
固定負債合計	2,292,177	2,287,987
負債合計	4,230,056	4,112,344

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,164,471	3,100,404
自己株式	△2,659	△2,659
株主資本合計	4,454,435	4,390,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,030	40,641
為替換算調整勘定	△408	△2,170
その他の包括利益累計額合計	38,621	38,470
純資産合計	4,493,056	4,428,839
負債純資産合計	8,723,113	8,541,184

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	1,168,133	1,059,890
売上原価	891,041	825,111
売上総利益	277,091	234,778
販売費及び一般管理費	301,203	269,494
営業損失(△)	△24,112	△34,715
営業外収益		
受取賃貸料	16,879	16,854
その他	1,197	2,881
営業外収益合計	18,076	19,735
営業外費用		
支払利息	4,199	5,541
賃貸収入原価	2,271	2,239
借入手数料	19,256	—
その他	200	1
営業外費用合計	25,926	7,781
経常損失(△)	△31,962	△22,762
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,962	△22,762
法人税、住民税及び事業税	1,242	7,889
法人税等調整額	△18,111	△13,445
法人税等合計	△16,868	△5,555
四半期純損失(△)	△15,093	△17,207
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,093	△17,207

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△15,093	△17,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,291	1,611
為替換算調整勘定	△150	△1,761
その他の包括利益合計	△4,441	△150
四半期包括利益	△19,535	△17,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,535	△17,357



( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更 )

該当事項はありません。

( 会計上の見積りの変更 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

( 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り )

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社グループの生産面、販売面における、現時点までの影響については、大きな増加や減少は見受けられておらず、限定的であります。

しかし、新型コロナウイルス感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当第 1 四半期連結会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2021年 2 月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソ リユーション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,105,604	37,414	25,113	1,168,133	—	1,168,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,957	250	—	2,207	△2,207	—
計	1,107,562	37,664	25,113	1,170,340	△2,207	1,168,133
セグメント利益又は損失 (△)	29,020	△45,492	△6,551	△23,023	△1,088	△24,112

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソ リユーション 事業	海外事業			
売上高						
外部顧客への売上高	979,821	74,031	6,036	1,059,890	—	1,059,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,558	1,207	—	2,765	△2,765	—
計	981,380	75,238	6,036	1,062,655	△2,765	1,059,890
セグメント利益又は損失 (△)	7,218	△17,336	△24,444	△34,562	△153	△34,715

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の解散)

当社は、2020年6月15日開催の臨時取締役会において、当社の連結子会社である上海皆碼嗣電気有限公司とHONG KONG JMCS LIMITED. の解散を決議いたしました。

#### 1. 解散の理由

当該連結子会社は、中国市場における新規顧客の開拓、販路のさらなる拡大を目的として海外事業を立ち上げ、上海皆碼嗣電気有限公司とHONG KONG JMCS LIMITED. を設立いたしました。以来、収益基盤を確立するために積極的な販路開拓に注力してまいりました。しかし、2020年初頭からの新型コロナウイルスの感染拡大により、当該地域経済における先行き不透明感から、当該子会社単体での安定的な収益を確保することが困難であるとの判断に至り、グループ経営の最適化の観点から上海皆碼嗣電気有限公司とHONG KONG JMCS LIMITED. を解散することといたしました。

#### 2. 当該子会社の名称、事業内容及び出資比率等

##### (1) 上海皆碼嗣電気有限公司

①名称	上海皆碼嗣電気有限公司
②所在地	上海市長寧区新華路728号華聯發展大厦607号
③代表者の役職・氏名	董事長 植村瑠美
④資本金	14,998千人民元
⑤事業内容	ケーブル及びハーネス加工品、電気・電子機器類とその関連システムの販売・貿易等
⑥設立年月	2016年6月20日
⑦出資比率	HONG KONG JMCS LIMITED. (当社100%子会社) 100%

##### (2) HONG KONG JMCS LIMITED.

①名称	HONG KONG JMCS LIMITED.
②所在地	SUITES 1629A-30, 16/F OCEAN CTR HARBOUR CITY KL
③代表者の役職・氏名	董事長 植村剛嗣
④資本金	19,374千香港ドル
⑤事業内容	ケーブル及びハーネス加工品、電気・電子機器類とその関連システムの販売・貿易等
⑥設立年月	2015年7月9日
⑦出資比率	当社100%

#### 3. 解散の時期

2020年6月15日 当社開催の臨時取締役会による承認決議  
今後、現地の法令に従い必要な手続きが完了次第、清算終了となる予定でございます。

#### 4. 当該連結子会社の状況 (2019年12月31日現在)

##### (1) 上海皆碼嗣電気有限公司

資産総額	6,276千中国元	(98,352千円)
負債総額	378千中国元	(5,929千円)

##### (2) HONG KONG JMCS LIMITED.

資産総額	7,256千香港ドル	(102,101千円)
負債総額	87千香港ドル	(1,224千円)

#### 5. 当該解散による損益への影響

当該連結子会社の解散及び清算に伴う影響は現在精査中ですが、これに伴う清算損益を計上する可能性があります。また、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

#### 6. 当該解散による営業活動等への影響

当該連結子会社の解散及び清算が営業活動等へ及ぼす影響は軽微であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。